水稲の生育状況と今後の管理対策（第１号）

令和元年５月 31 日
新潟県農林水産部

〔要約〕

生育状況

◎　コシヒカリは、指標値（生育のめやす）に比べ、茎数が多く、生育が早まっています。

◎　５月上旬植えのつきあかり、ゆきん子舞、こしいぶきは、茎数が「やや多い」～「多い」状況です。

今後の管理対策

◎　１か月予報によれば、６月も高温で推移すると予想されています。今後さらに茎の発生が旺盛になり、中干（なかぼ）し*1 を始める時期がかなり早まると見込まれます。中干しは適期を逸しないよう開始しましょう。

　特に、連休植えのほ場や生育が過剰になりやすいほ場では、速やかに茎数を確認して、遅れずに中干しを開始してください。

◎　現在、田のワキ*2 等の発生が多いほ場では、ただちに夜間落水を行い、根の健全化に努めましょう。

*1 中干し：田の水を落として、一時的に田を乾かすこと。
*2 田のワキ：稲わらなどが分解する際、ガスが発生すること。

[５月 30 日現在の生育]

○　コシヒカリは、指標値（生育のめやす）に比べ、草丈が「長い」、茎数が「多い」、葉数の進みが「早い」状況で、生育が４日程度早まっています。

○　長岡市に設置した調査ほ場の茎数は、指標値に比べ、つきあかりが「多い」、ゆきん子舞が「やや多い」、こしいぶきが「多い」状況です。

[今後の生育見込み]

○　５月 30 日発表の１か月予報（６月１日から６月 30 日まで）によると、平均気温は高く、降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多いと予想されています。

○　そのため、茎数が急激に増加し、平年よりもかなり早く中干し適期に達すると見込まれます。

[当面の管理対策]

○　中干し・溝切り

　コシヒカリの中干し適期は、茎数が目標穂数の７～８割を確保した時期（遅くとも田植後 30 日がめやす）です。生育が過剰になりやすいほ場では、より早めの６～７割の時期（田植後 25 日がめやす）となります。

　連休植えのほ場や生育が過剰になりやすいほ場では、速やかに茎数を確認して、遅れずに中干しを開始してください。

　また、溝切りも確実に実施しましょう。

○　水管理

　気温が高く降雨が少ないため、田のワキや表層はく離、アオミドロの発生が多くなっています。現在、発生の多いほ場では、ただちに夜間落水を行い、根腐れや生育停滞を防止しましょう。

○　渇水対策

　山間地等で用水が不足して田植えが遅れている場合は、追肥により苗の老化防止と葉色の維持に努めましょう。

◎　今後の管理対策発行予定日
　６月 11 日・21 日、７月２日・11 日・19 日・26 日・31 日、８月 21 日、９月 11 日

〔補足資料〕

１　農業普及指導センター及び作物研究センターにおける生育状況

○　コシヒカリは、指標値（生育のめやす）に比べ、草丈が「長い」、茎数が「多い」、葉数の進みが「早い」です（表１）。
○　つきあかりの茎数は「多い」、ゆきん子舞は「やや多い」、こしいぶきは「多い」状況です（表２、表３、表４）。

（１）コシヒカリ

表１　県内全域のコシヒカリ生育調査ほ調査結果（５月 30 日現在）

項目	本年値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	27 ㎝	23 ㎝	長い	115%
茎数	126 本/㎡	91 本/㎡	多い	138%
葉数	5.7 葉	4.9 葉	早い	+0.8 葉

注）県内全域の生育調査ほデータの平均値

（２）つきあかり、ゆきん子舞、こしいぶき

表２　つきあかりの生育調査ほ調査結果（５月 30 日現在）

項目	本年値	指標値	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	28 ㎝	28 ㎝	並	100%
茎数	172 本/㎡	110 本/㎡	多い	156%
葉数	6.2 葉	5.5 葉	早い	+0.7 葉

注１）化成肥料栽培。田植え５月８日、栽植密度は 21.2 株/㎡
注２）基肥窒素成分量　7.0kg/10a
注３）長岡市長倉町（作物研究センター）の生育調査ほデータ

表３　ゆきん子舞の生育調査ほ調査結果（５月 30 日現在）

項目	**本年値**	指標値	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	**24 ㎝**	26 ㎝	やや短い	92%
茎数	**194 本/㎡**	180 本/㎡	やや多い	108%
葉数	**6.9 葉**	6.0 葉	早い	+0.9 葉

注１）化成肥料栽培。田植え５月１日、栽植密度は 18.8 株/㎡
注２）基肥窒素成分量 2.8kg/10a(前作枝豆)
注３）長岡市高野町の生育調査ほデータ

表４　こしいぶきの生育調査ほ調査結果（５月 30 日現在）

項目	**本年値**	指標値	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	**23 ㎝**	22 ㎝	やや長い	105%
茎数	**204 本/㎡**	109 本/㎡	多い	187%
葉数	**6.0 葉**	5.3 葉	早い	+0.7 葉

注１）化成肥料栽培。田植え５月 10 日、栽植密度は 19.6 株/㎡
注２）基肥窒素成分量　3.0kg/10a
注３）長岡市長倉町（作物研究センター）の生育調査ほデータ

2　地力窒素の発現状況

○　移植日からの日平均地温は平年より約3.0℃高い。このため地力窒素の発現量は化学肥料区、堆肥区ともに平年より多い（表５および図１～２）。

表５　地力窒素の発現状況（農総研基盤研究部調査）　　(mgN/100g)

調査日		５月 10 日①	５月 29 日②	地力窒素発現量※1 (③＝②－①)
化学肥料区	本年値	3.6	4.7	1.1
	前年値	3.2	4.5	1.4
	平年値	2.3	2.8	0.5
堆肥施用区	本年値	3.9	5.3	1.4
	前年値	3.2	4.6	1.4
	平年値	2.7	3.5	0.8

※１　小数点３ケタ目の四捨五入の関係で、表中の数値の引き算と合わない場合がある。

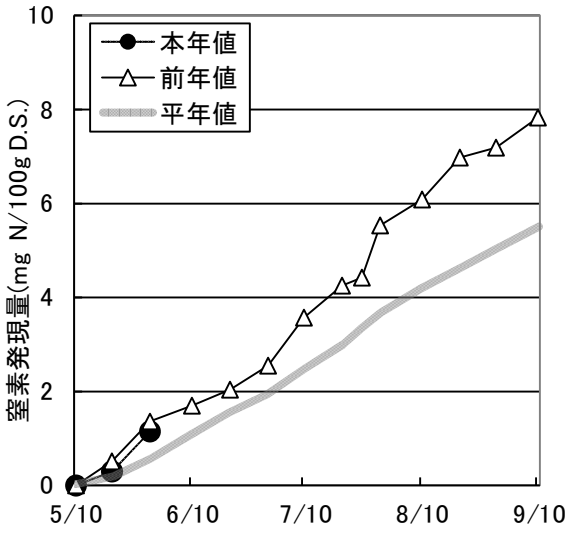

図１　地力窒素の発現推移
（化肥区；初期値を０とした）

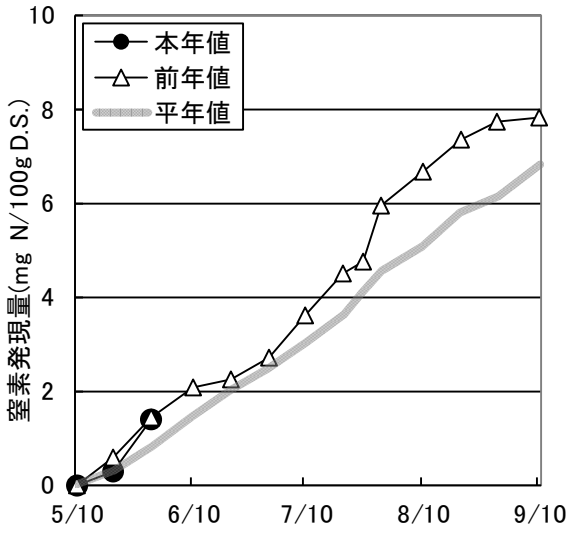

図２　地力窒素の発現推移
（堆肥区；初期値を０とした）

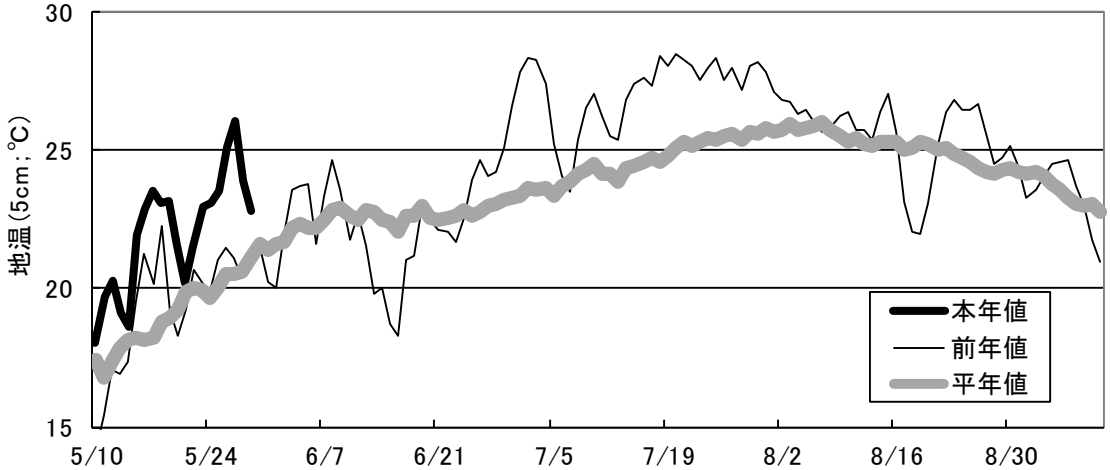

図３　地温（５cm）の推移

〔取扱注意：本資料は受信機関限りとし、他者への提供は行わないでください。〕

3　参考資料

（１）生育データ詳細

表６　農業普及指導センターのコシヒカリ生育調査ほ　地域別調査結果（５月 30 日現在）

ほ場の種類		一　般　定　ほ　場							特定定ほ場	
地　　域		下越	新潟	中越	魚沼	上越	佐渡	県全体	強風	山・高
調査地点数		2	3	3	3	3	1	15	2	2
平均田植日(月/日)		5/11	5/5	5/16	5/15	5/9	5/13	5/11	5/8	5/24
平均栽植密度(株/坪)		61	56	53	59	63	54	58	59	57
草丈	本年値(cm)	23	27	25	24	28	29	26	27	15
	指標比(%)	102	101	106	125	122	121	113	106	79
	前年比(%)	96	104	114	114	117	118	113	102	90
茎数	本年値(本/㎡)	177	171	87	125	150	85	136	109	69
	指標比(%)	202	171	90	153	173	94	150	117	94
	前年比(%)	156	203	119	154	135	110	151	169	90
葉数	本年値(葉)	5.9	6.1	5.5	5.3	6.1	5.1	5.7	6.3	4.6
	指標差	1.1	0.8	0.6	1.0	1.3	-0.2	0.9	1.3	0.5
	前年差	0.8	0.6	0.9	1.0	1.0	0.4	0.8	1.0	0.5

注）特定定ほ場の「強風」は阿賀野市、五泉市の強風地域、「山・高」は十日町市、津南町の山間高冷地域

（２）メッシュ気象データ（農研機構メッシュ農業気象データを利用して作成）

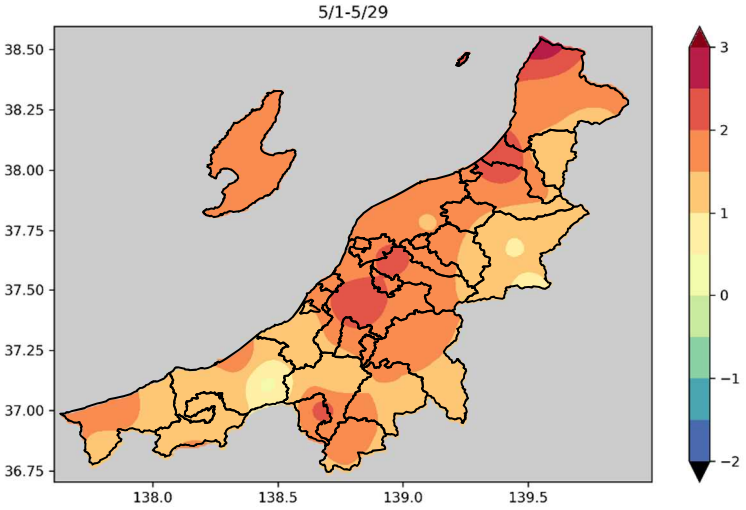

図４　気温の平年差（℃、５月１日～29 日）

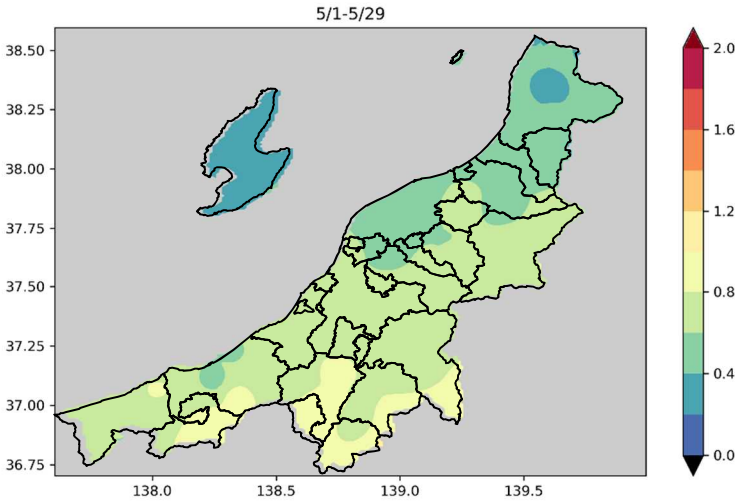

図５　降水量の平年比（比率、５月１日～29 日）

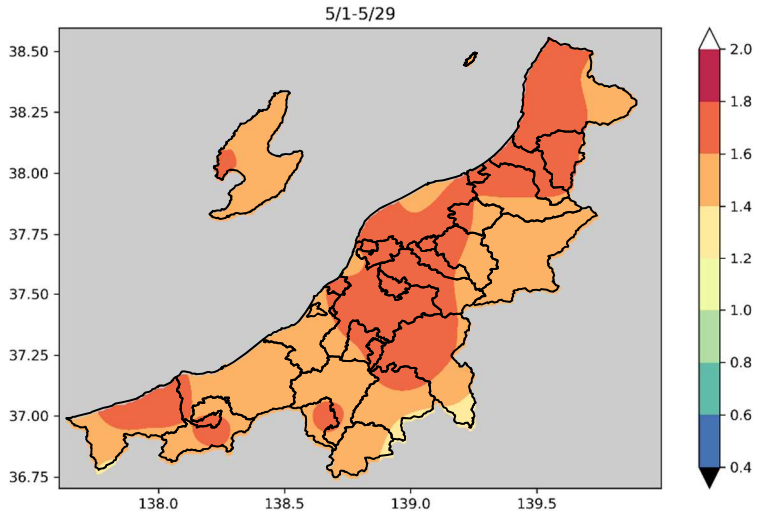

図６　日照時間の平年比（比率、５月１日～29 日）